

長野県下伊那におけるチャバネアオカメムシの発生予測（区間予測）

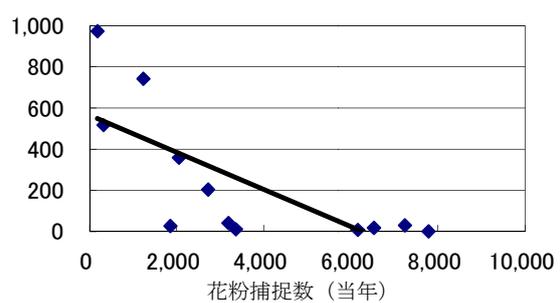
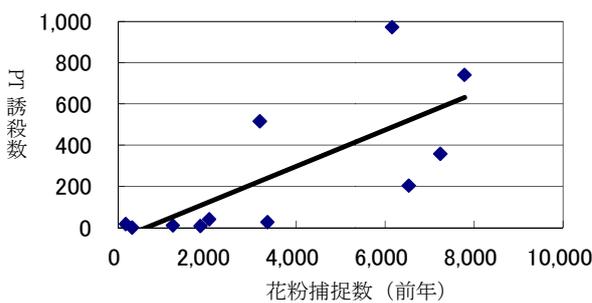
南島 誠（長野県病害虫防除所）

現在、長野県で発生する主な果樹カメムシには、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、の3種であるが、本種（チャバネ）はその代表種で、現在の長野県における果樹カメムシ被害のほとんどが本種による被害と言っても過言ではない。また本種とクサギカメムシの食性が似ていることもあり、クサギカメムシの年次別発生量のリズムは本種とよく似ていると思われる。よって、現在の果樹カメムシ防除は、本種の発生予測に基づいて実施している。

本種による果樹園の被害量は、果樹園への飛来量と防除圧によって決定されると考えられ、被害量を減らすには、飛来の量と時期を予測することが重要と考えられる。

本種による被害が最も多いナシの被害を減少させるため、2000年以降に調査したデータを基に、長野県下伊那地域で行っている、6～8月の果樹園飛来の量的予測方法について紹介する。

- (1) 2000年～2013年の果樹カメムシ被害面積とPT誘殺数
- (2) 前年度のスギ・ヒノキ花粉捕捉数とPT誘殺数（単回帰分析）
- (3) 当年度のスギ・ヒノキ花粉捕捉数とPT誘殺数（単回帰分析）
- (4) 前年度と当年度のスギ・ヒノキ花粉捕捉数とPT誘殺数（重回帰分析）
- (5) 前年度／当年度のスギ・ヒノキ花粉捕捉数比とPT誘殺数（単回帰分析）
- (6) 平均値の予測から、95%確率区間の予測値へ
- (7) 予測値と農家や指導者への情報提供内容と方法（2014年の予測）
- (8) 時期的予測の必要性和現在の方法



説明変数と目的変数	R ²	R ^{*2}	
前年の花粉と誘殺数	0.502723	0.461284	
当年の花粉と誘殺数	0.538816	0.500384	
前年・当年の花粉と誘殺数	0.641198	0.575961	
前年／当年の花粉と誘殺数	0.703135	0.673448	◎

回帰式

$$Y = 28.53819(X_1/X_2) + 106.182 = 185 \text{ 頭}$$

確率 95%区間の予測値 132～239 頭

